

かぎぐるま 通信

発行：社会福祉法人いこま福祉会

発行責任者：理事長 関谷 多摩恵

平成 29 年 2 月 厚生労働省の『「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部』は、『「地域共生社会」の実現に向けて（当面の改革工程）』を取りまとめ公表しました。この実現本部とは、一億総活躍社会づくりが進められる中、福祉分野においても「地域共生社会」の実現を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトとして、その具体的な取組について検討するために設置された組織です。

その中で、「地域共生社会」とは制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会とあります。

改革の骨格として以下 4 つの柱が挙げられています。第 1 に地域課題の解決力の強化 第 2 に地域丸ごとのつながりの強化 第 3 に地域を基盤とする包括的支援の強化 第 4 に専門人材の機能強化・最大活用です。

上記の骨格の第 1 に挙げられた地域課題の解決力の強化では、福祉事業者が積極的に地域活動に貢献できるよう、今年度中に、福祉事業の実施に関わる職員基準について、一定の要件の下で、職員が地域づくり事業・活動へ従事可能であることを明確化するなどの見直しを行う。併せて、こうした見直しを活用し、改正社会福祉法で位置付けられた社会福祉法人の地域における公益的な取組を促進するとあります。第 2 の地域丸ごとのつながりの強化では、高齢者、障害者など、様々な課題を抱える人が地域での就労又は活動に参加しやすくなるよう、支援体制を強化することや耕作放棄地の再生や森林などの環境保全、空き家の利活用、商店街の活性化など、地域社会・経済の抱える様々な課題について、社会保障の枠を超えて地域の資源とつながることで地域「循環」を生み出す、先進的な実践を支援するとあります。その中で主な取組の例として農福連携も具体的に挙げられています。

いこま福祉会も近隣の地域とのつながりを重視した「やまびこネットワーク」の活動への積極的な参画や高山農園で展開を目指している事業が、上記で挙げられた国の方針とも重なってきます。法人組織の整備を図りながら着実な歩みを図りたいと思います。

社会福祉法人いこま福祉会
理事長 関谷 多摩恵

「ローカル線」

大乘滝寺住職 辻村泰範

10月20日から山口県立美術館で奈良西大寺展が開催されることになった。

東京三井記念美術館、大阪ハルカス美術館に続く展覧会である。～叡尊と一門の名宝～と副題が付いている。奈良時代、聖武天皇と光明皇后の娘である称徳天皇の勅願によって創建され大伽藍を誇った西大寺は、平安時代になって南都の他の寺同様衰退の道をたどったが、鎌倉時代に入って興正菩薩叡尊によって再興された。叡尊とその弟子忍性らは貧困で苦しむ人や障害者の救済事業を展開され、日本の組織的な社会福祉事業の先駆者として称えられている。彼らの活動は西大寺一門として近畿はもちろん東北、九州にまでその教えとともに広まった。今では、真言律宗と呼ばれるその西大寺の末寺や、かつて末寺であった由緒の寺院の国宝や重要文化財が一堂に集められている。

開会式とその開白の法要に参加するために前日、美術館に向かった。美術館は山口市にある。新幹線でかつて蒲郡駅と呼ばれた新山口駅で山口線に乗り換え、30分足らずで山口に着く。

最近、移動の便利さや時間の短縮など車を使うことが多いが、長距離になるとやっぱり列車、とりわけ新幹線を使うことが多い。大して時間は変わらないのに少しでも早く着く特急を選択してしまう。おまけに乗り換え時間も最短時間で乗り継いで悦に入っている。ところが、新山口駅についてみると、自分がしっかり下調べをしてこなかったこともあるのだが、約一時間の待ち合わせである。時刻表を見ると一時間に一、二本ぐらいの列車しか走っていない。居合わせた初老のおじさんは、私もそうなのだが、これでは新幹線に乗ってきた意味がないなあ、などと愚痴っている。ところが、諦めて在来線の一番果てにあるホームをウロウロ歩いているうちにフト思い出した。子供の頃、親に連れてもらって遠くまで旅行した時はこうだったなあ。乗り換えの駅で小一時間待つなどは当たり前のことだった。

ホームに掲示されている山口線開通の歴史や、小郡駅が新山口駅に改称されたいきさつなどの展示や、蒸気機関車の動輪を眺めながらちょっとした豆知識を得ることもできた。スケジュールに追われる旅でなかったということもあったのだが、各駅停車の列車の人になってつくづく振り返ってみたことである。なんと時間に追われ、時間に縛られていることであろうかと。しかも忙しげに、分単位で行動を考えてやりこなせたときにある種の達成感を得ていた自分がいた。ところがここでは、シタバタしても始まらない。

新幹線のコンコースから改札を出て在来線のホームに歩いてきた時の風を思い出していた。なんだか全く景色が違ったのである。時刻表をせわしく眺めて適当な列車がないと気付いたので、傍らの売店のスタッフに「バスはないのか」と尋ねると、「知らない」と悠然としている。通りがかった駅員に同じように声をかけると、「バスのことはわかりません」と。むしろ、お前さんは何をあくせく急いでいるのかと訝しげである。みんなゆっくり歩いている。風は吹くともなくそよいでいた。

翌日は、キャリーバッグをゴロゴロと引っ張りながら美術館から駅に向かった。通りを横切る掘割を眺めながらタクシーにせず良かったと思った。

この度、6月の理事会で社会福祉法人いこま福祉会の理事に就任致しました。まだまだ未熟なものでこうした役割を十分に果たせるかという不安もありますが、理事長はじめ、皆さまのご理解と温かい支えのもと、この法人に対してできる限りのことをさせてもらえればという気持ちでこの役目を引き受けさせていただきました。

私は、この法人に勤めて約12年の年月が経ちました。右も左もわからない新入社員の時期から、本人、ご家族、関係者の皆様から教えられることがたくさんあったことを感じています。そして今相談支援という業務を中心に色んな仕事を担う中でも同様に本人、ご家族、関係者の皆様から教えていただくことばかりであることを常を感じています。

人それぞれが違う暮らしや違う思いを持っていて今の生活があり、ひとつとして同じ事例はありません。ひとりひとりのお話に向き合っていて一緒に考える中で、得られるものがたくさんありました。時に喜び、時に悩み、そうしたことを経ながら社会の中で生き生きとがんばっている方々の姿が何よりの嬉しさであり、やりがいです。こうした機会をもっとたくさん感じられるよう、法人として色んなものを作り上げていければと思っています。

力足らずとはいえ、出来る限りのことを一生懸命取り組んで参りますので、これからも引き続き温かいご支援のほどよろしくお願い致します。

高山農園 風のファーム

この4月より、今まで以上に本格的に農業に携わるべく、自然豊かな生駒市高山町で6.7反の土地をお借りして農作業に取り組んでいます！その農地を『風のファーム』と名付け、毎日元気に農作業に励んでいます。



太陽の光を浴びながら、肥料を運んだり、刈った草を一か所に集めたり、苗を植えたり、水をやったり…楽しい収穫に向けていろんな作業があります。それぞれ、得意なこと・好きなことを中心に、自分に合った役割を見つけて着実に一歩ずつ活動しています。

夏にはズッキーニがたくさん獲れて、他にもすいかやピーマン、とうもろこしなどなど…獲れたときのメンバーの嬉しそうな表情が印象的な夏でした！これからの季節、ほくほくのさつまいもがたくさんできました！お楽しみに！！

☆ゲミューゼとの業務連携

『風のファーム』では、農業法人株式会社ゲミューゼと業務提携を行い、畑の管理や農業指導、イベントの共同企画を行っています。初めはメンバーさんもゲミューゼのスタッフも緊張！？していましたが、今ではお互い信頼関係も出来上がり、楽しく活動しています。これからも畑作業の指導や共同作業を通して、メンバーさん・職員共々一緒に成長していけたらと思います。



☆農業インターン

風のファームでの活動をスタートさせたと共に、農業を通してかざぐるまを少しでも学生の方に知ってもらおうと、インターン企画を始めました。

第1回目は6月、第2回目は10月にそれぞれ行い、総勢20名の学生が参加してくれました。職員・メンバーさん・学生と一緒に畑仕事をしたり、BBQで楽しい雰囲気共有したり、農福連携の話を真剣に行なったりと、充実した内容で学生の方からも嬉しいお声をいただいています。



また、8月～9月にかけて奈良県大学連合のインターンシップ制度を利用し、大学3回生の男性1名をいぶき班で受け入れ、メンバーさんと一緒に畑仕事を中心に活動していただきました。最終日には「風のファーム収穫祭」を企画していただき、「和家」で採れた野菜を使って豚汁を作ったり、スイカ割りを行ったりと楽しい1日を過ごすことができました。

少しでも福祉に、かざぐるまに興味のある学生を増やすために、これからもたくさんの企画を考えていきたいと思ひます。



☆やまびこネットワークとの活動

壱分小学校区域であいさつ運動等の地域活動を精力的に行っておられる、やまびこネットワークさんと協力して、今年度、地域の子ども会さんを招いて農業体験イベントを企画しました。5月にさつまいも植えを、秋にはさつまいもの収穫をメインに、自然の中で遊ぶ時間も設けながら子どもたちが楽しめるよう工夫しました。お借りしてい



た近畿大学の農園でさつまいもを植えたのですが、見事にイノシシに食べられてしまい、泣く泣く高山『風ファーム』でさつまいもの収穫をすることになりました。10月にもかかわらず夏のような暑い日で、汗をかきながらみんなでカゴいっぱいのおいもを収穫しました。自然の中で泥んこになってのびのびと遊ぶ子どもたちの笑顔が、とっても素敵でした！また来年も交流を楽しみにしています。



「ラベンダー」が開所

2年の構想を経て、平成29年4月より定員4名の女性グループホーム「ラベンダー」が開所しました。

利用者の特性に応じて建物の設計や入居までの段取り・ホームでの過ごし方などについて、ご家族や関係者の方々に協力いただき、無事に開所することができました。利用者は入居に伴い生活の環境が変わり、不安な思い



もあったと思いますが、徐々にラベンダーでの生活にも慣れ、リラックスして過ごされることも増え、笑顔も見せてくださっています。利用者が安心して今後の生活をさらに豊かにしていただけるように、これからもご家族や関係者の方々と協力をしながら利用者の生活を支えていきたいと思ひます。



工房 結がスタート!

紙すき班が4月より「工房 結(ゆい)」という名前を掲げ、生駒市小平尾町で活動を始めました。地域に繋がっていく・自分たちの作ったものが人と人を結ぶ物になってもらいたいという思いから、付けた名前です。仕事としては従来の紙すき作業の他、内職作業も行っています。B型事業所なので、仕事がメインの場所になりますが、利用者もやる気を持って活動しています。



7月には紙すき作業場の増築も完了し本格始動。最初はかざぐるまでしていたように上手くいかない事もありますが、利用者のチーム力で一日ハガキ 600 枚を漉けるまでになりました。名刺やはがきの注文も引き続きご注文頂くことができました。

また、今年度より月1回、小平尾町の方に食事を振る舞う「たわわ食堂」に参加させていただいています。

その日のメニューの1品を担当させてい

ただき、利用者も一緒に作り、振る舞う。その事が「ありがとう」に繋がっているように感じています。たわわ食堂の活動に入るようになってから、地域での「あいさつ」も増えてきています。さりげない「おはようございます」「こんにちは」すごくステキな事だと実感しています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。開所に伴いご協力いただきました地域の皆様ありがとうございました。



「和家 ~なごみや~」が開所

平成 29 年 7 月新旭ヶ丘の地域に、旧家を改装した「和家 ~なごみや~」がオープンしました。

利用者の方々が自分たちのほっとできる余暇の時間を作っていくために進めてきた場所です。

建物は暖かみのある平屋建ての日本家屋で、改装前の雰囲気大切に残しリフォームしました。縁側から広い庭があり、その奥には生駒山の景色がきれいに眺められます。閑静な住宅街の中ということもあり、静かで穏やかな時間が流れる空間です。



夕方の日中一時支援や、グループホームの方たちが休日などに集って催しをしたり、外出支援でほっと立ち寄れる居場所、日中活動での利用など色々な場面で活用しています。新しい場所に行くことに不安を感じる方もおられますが、和家の雰囲気にはみなさんずっと馴染んで下さっています。

これからも和家を拠点に「憩う」時間を提供し、みなさんが充実した時間を送れるようにしていきたいと思ひます。



社会福祉法人 いこま福祉会 平成28年度決算報告(事業活動計算書)

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

サービス活動増減の部	28年度決算	27年度決算	増減
収入			
就労支援事業収益	19,973,092	20,595,869	△ 622,777
障害福祉サービス等事業収益	467,699,772	450,964,136	16,735,636
経常経費寄附金収益	3,312,712	4,509,883	△ 1,197,171
サービス活動収益計(1)	490,985,576	476,069,888	14,915,688
支出			
人件費	330,546,167	300,059,679	30,486,488
事業費	57,259,951	53,874,260	3,385,691
事務費	40,414,783	36,071,810	4,342,973
就労支援事業費用	24,057,765	24,169,267	△ 111,502
減価償却費	39,318,759	36,950,886	2,367,873
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 22,464,538	△ 22,881,606	417,068
サービス活動費用計(2)	469,132,887	428,244,296	40,888,591
サービス活動収支差額(3)=(1)-(2)	21,852,689	47,825,592	△ 25,972,903

サービス活動外増減の部

収入			
受取利息配当金収益	557,104	430,763	126,341
その他のサービス活動外収益	7,838,155	7,628,272	209,883
サービス活動外収益計(4)	8,395,259	8,059,035	336,224
支出			
その他のサービス活動外費用	5,169,783	5,255,559	△ 85,776
サービス活動外費用計(5)	5,169,783	5,255,559	△ 85,776
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,225,476	2,803,476	422,000
経常増減差額(7)=(3)+(6)	25,078,165	50,629,068	△ 25,550,903

特別増減の部

収入			
施設整備等補助金収益	43,974,000	1,260,000	42,714,000
固定資産売却益	220,000		220,000
特別収益計(8)	44,194,000	1,260,000	42,934,000
支出			
固定資産売却損・処分損	6	2	4
国庫補助金等特別積立金積立額	43,974,000	1,260,000	42,714,000
その他の特別損失	9,860,120		9,860,120
特別費用計(9)	53,834,126	1,260,002	52,574,124
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 9,640,126	△ 2	△ 9,640,124
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	15,438,039	50,629,066	△ 35,191,027

繰越活動増減差額の部

前期繰越活動差額増減(12)	269,003,137	253,344,071	15,659,066
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	284,441,176	303,973,137	△ 19,531,961
基本金取崩額(14)			0
その他の積立金取崩額(15)	29,950,000		29,950,000
その他の積立金積立額(16)		34,970,000	△ 34,970,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	314,391,176	269,003,137	45,388,039



たくさんのご支援 ありがとうございました

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)



寄附金を頂戴しました。(敬称略・五十音順)

- | | | | |
|----------------|------------------|---------------|------------------|
| 相本 多美子 | 上武建設安全協力会 | 常岡 昌子 | ブリヂストン建設タイヤ販売(株) |
| 青木 和子 | 川本産業(株) | 天之辻 弘彦 | 孫田 和子 |
| 浅間 晋一 | 神田 昌則 | 土居 恵美子 | 榑田 健 |
| 池端 英雄 | 來村 懋勲 | (福)どんぐり 白樫 学 | 松岡 豊一 |
| 生駒市障害児・者を守る連合会 | キャビラーウエストジャパン(株) | 中井 直美 | 松川 定嗣 |
| 生駒市身体障害者福祉会 | (株)きんでん奈良支店 | 中尾 初美 | 松下 重信 |
| 岩元 愛二 | 草場 美明 | 中庄谷 幸榮 | 松嶋 千年 |
| 生駒市手をつなぐ育成会 | 久保 昌城 | 中田 眞知子 | 松原 和宏 |
| 生駒商工会議所 | 窪田 とき子 | 中地区民生児童委員協議会 | 松本建材土木(有) |
| 壱分町西自治会 | 窪田 俊造 | 会長 幸元 淳子 | 松本 泰和 |
| 壱分町東自治会 | (株)ケイアイ | 中村 美子 | 水田 竜也 |
| 井戸 偉司 | 神津 育雄 | 奈良レミコン(株) | 三谷 宏弥 |
| 稲田商店 | 幸前 寿男 | 西浦 一次 | 源 知子 |
| 稲西 要 | 北第一地区民生児童委員協議会 | 西川 房子 | 峰 千賀雄 |
| 井浪 正子 | 会長 小森 山義 | 西田 浩基 | 宮川 洋代 |
| 今村 祥二 | 小西 壽美雄 | 西林 鉄雄 | 村上 邦子 |
| 居村 典彦 | 小林 洋子 | 西元 満興 | 森雅男歌謡学園長 松田 健二 |
| 岩藤 和夫 | コマツ建機販売(株) | 野口 容弘 | 森 能伸 |
| 岩本 先 | コマツレンタル(株) | 延城商店 | 森本 健太 |
| 上野商店 | 近藤 嘉男 | 畑 勝彦 | 森本 敏子 |
| 上野 幸雄 | 齋藤 賢太郎 | 畑下歯科医院 | 矢崎 米子 |
| 植村 圭子 | 齋藤 頼親 | 花村 勝文 | 安田 富雄 |
| 上山 定子 | サエラ薬局 生駒店 | 林 昌弘 | 柳川 保雄 |
| 鵜飼 和廣 | 坂森 トク | 原 映子 | 矢野 敏文 |
| 有働 満喜子 | (株)ササイ | 坂東 伸昭 | 山岸 孝三 |
| 梅田 昭夫 | 島田 孝子 | 東 正一良 | 山口 康子 |
| 梅本 路子 | 清水 泰之 | ひかりが丘自治会駐車場管理 | 山口 隆子 |
| 永合 達生 | 杉田 ヒデ | 委員会委員長 西川 由美子 | 山口 知靖 |
| (株)エイト工業 | 杉本 秀夫 | 樋口 和代 | 山口 裕和 |
| 榎本 啓子 | 杉本 美津子 | (株)樋口組 | 山田 正弘 |
| 大阪Ⅱゾンタクラブ | 鈴木商事(株) | 日立建機日本(株) | 大和 谷一 |
| 大塚 扶美子 | (株)総合サービス | 日野 紀代子 | ヨコハマ建機タイヤサービス(株) |
| 大寺 道代 | 蕎麦田 多美子 | ひびきの会 | 横村 和宏 |
| 大野 稔 | (有)大鴻 | 平田 藤江 | 吉川 博好 |
| 大山 泰子 | (株)大幸土木建設 | 平田 吉次郎 | 吉田 昭 |
| オカダアイオン(株) | 高木 秀男 | 平野 いその | 渡瀬 善 |
| (有)奥野重機 | 滝藤 博史 | 廣津 勝治 | 渡部 昭子 |
| 尾山 恵美子 | 田中 朱実 | ふうしゃの会 | |
| 角重機 | 田中 峰子 | 福田 修 | その他匿名の方々 |
| (株)上武 | 谷中 重紀 | 藤木 強二 | |
| 上武 勝宣 | 辻村 泰範 | 藤田 満 | |
| 上武建設(株) | 辻本 蓉 | 藤本 正人 | |



物品を頂戴しました。(敬称略・五十音順)

イオン登美ヶ丘店

関西電力(株)労働組合奈良支部

マックスバリュ生駒南店

その他、沢山の皆様から牛乳パック・アルミ缶等を提供していただきました。

社会福祉法人 いこま福祉会



第三者委員 報告（平成 28 年度）

平成 28 年度中に第三者委員会で審議された案件は 0 件でした。

平成 28 年度の活動では、委員の方とかざぐるま、福祉ホーム、グループホームで食事会を行い、その後、利用者さんと委員の方が懇談を行いました。普段はあまり話す機会がない利用者さんと直接お話しいただき、普段の様子など聞かれていました。

苦情に関することは、【0743-77-9900】までご連絡ください。各部署の苦情受付担当に取り次ぎます。また、かざぐるま玄関、かざぐるまえーる玄関にも苦情受付箱を設置しております。

社会福祉法人いこま福祉会 役員名簿（平成 29 年 6 月 23 日）

理事長	関谷 多摩恵	社会福祉法人いこま福祉会理事長
業務執行理事	浅井 伊知人	社会福祉法人いこま福祉会統括施設長
理事	大谷 健太郎	生活支援センターかざぐるまセンター長
理事	草場 暁美	生駒市障害児・者を守る連合会顧問
理事	高曲 友理子	かざぐるま施設長
理事	谷口 誠	社会福祉法人宝山寺福祉事業団評議員
理事	辻村 泰範	社会福祉法人宝山寺福祉事業団理事長
理事	登丸 寿一	元天理大学教授
理事	横村 良子	ふうしゃの会顧問
監事	辻本 典彦	辻本税理士事務所所長
監事	早元 勇	社会保険労務士事務所はじめ 社会保険労務士
評議員	清水 泰之	やまびこネットワーク代表
評議員	田和 成司	奈良県立奈良西養護学校教諭
評議員	富田 忠一	社会福祉法人ちいろば会 ちいろば園施設長
評議員	西山 政博	生駒市新旭ヶ丘民生・児童委員
評議員	林 昌弘	社会福祉法人長命荘理事長
評議員	原井 葉子	生駒市立壺分小学校校長
評議員	藤尾 清司	生駒市壺分東自治会会長
評議員	松本 順一	ふうしゃの会会長
評議員	村上 邦子	生駒市障害児・者を守る連合会会員
評議員	安田 まゆみ	生駒市手をつなぐ育成会会長
評議員	吉川 博好	生駒市商工会議所中小企業相談所所長

植村 圭子 氏のご逝去を慎む

平成 29 年 9 月 15 日、突然のお別れの日が来ました。

いこま福祉会の理事・評議員として永年にわたりご尽力いただきました。

優しく温かいお心で、いつも笑顔でご指導下さいました。

植村さん本当にありがとうございました。安らかなご冥福をお祈りいたします。

合掌

編集

〒630-0222 奈良県生駒市壺分町 356-2 社会福祉法人いこま福祉会

TEL 0743-77-9900 FAX 0743-77-6868

URL <http://www.ikoma-fukushi.net/> Email ikm-fukushi@kcn.jp

編集責任者： 面松 大介